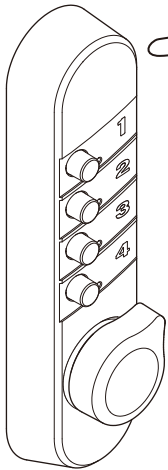
KEYLEX 047 ［面付本締錠　両面ボタンタイプ］

取扱説明書（お施主様向）

このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書は施工完了後、お施主様にお渡しください。
この説明書は必ずお読みのうえ、保管してください。

防犯上、定期的な記憶番号の変更をおすすめします。

〈記憶番号の記録〉

	室外側				室内側			
ボタンNo.	1	2	3	4	1	2	3	4
年　月　日								
年　月　日								
年　月　日								
年　月　日								
年　月　日								

注意　危険防止の為に以下をお読みください

7275040

■ **取付ねじのゆるみ**
・各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為、定期的に増し締めしてください。
・取り付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

■ **他の用途への使用**
・ロックターンにぶら下がったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。

◆ **操作上の注意（故障の原因となります）**
・製品の分解、改造はしないでください。
・デッドボルトを突き出させた状態で扉を閉めないでください。
・ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
・主錠・補助錠を施錠してから、KL047 を施錠してください。

◆ **永くご使用頂くために**
・錠ケースへの潤滑剤使用は避けてください。
・表面の手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。
・汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。
・水をかけて丸洗いすることは、避けてください。
・製品に塗布している油分が、使用当初や長期間使用されなかった後などに固くなり、作動が鈍くなる場合がありますが、故障ではありません。
何度か操作されますとスムーズに動くようになります。

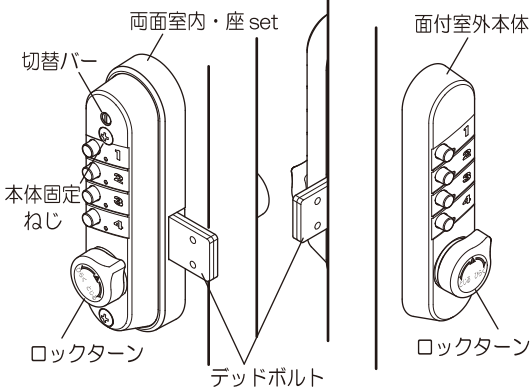
記憶番号設定時の注意と必要なもの

① 記憶変更ピン　記憶番号 新規設定 及び 記憶番号 変更 に使用します。
② マイナスドライバー　記憶番号 変更 切替バーの操作に使用します。
③ プラスドライバー　もしもの時 に本体を取り外す時に使用します。
④ クサビ等　記憶番号 新規設定 記憶番号 変更 もしもの時 に扉を開いた状態で固定させるために使用します。
記憶番号の設定・変更のときは、必ず扉を開いた状態にして（クサビ等で固定）室内外ともおこなってください。

株式会社　長沢製作所

東京支店　TEL. 03-5383-1811（代）
FAX. 03-5967-3103
大阪支店　TEL. 06-6783-5091（代）
FAX. 06-6783-5092
福岡出張所　TEL. 092-524-7031（代）
FAX. 092-524-7032

各部の名称と操作方法

両面室内・座set　面付室外本体　切替バー　本体固定ねじ　ロックターン　デッドボルト　ロックターン

本図は右吊元仕様です。左吊元は対称です。

キーレックス 047（以下 KL047）は、記憶番号ボタン操作と、ロックターン操作で施解錠をおこないます。
※工場出荷時は、記憶番号の設定がされていないフリー状態です。
（裏面 記憶番号 新規設定 で設定）

ロックターンを回しデッドボルトがスムーズに作動することを確認してください。

※表示シールと操作があっていることを確認してください。
『とじる』の方向はデッドが飛び出す → 施錠（リセットの役目もあります）
『ひらく』の方向はデッドがおさまる → 解錠

基本の操作

施　錠

① ロックターンを『とじる』に回しきります。

※デッドボルトが出て施錠します。

解　錠

① ロックターンを『とじる』に回しリセットします。
ゆっくり止まる位置まで回しきります。
※誤操作・イタズラ回避のため必ずリセットしてください。

②記憶番号を入力します。
ボタンは奥まで確実に押します。
※ボタンを押す順番は自由です。
※記憶番号を押し間違えた時は①から操作をやりなおしてください。

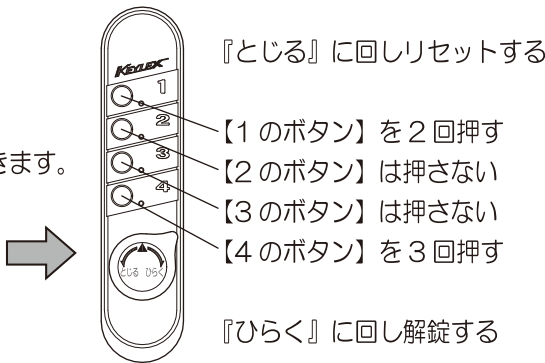
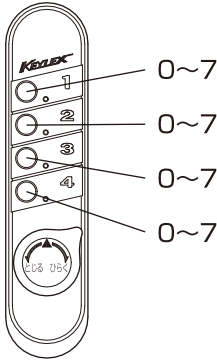
③ロックターンを『ひらく』に回すと解錠できます。

記憶番号について

・KL047 は『どのボタンを何回押すか』を認識し解錠します。
記憶番号とは『どのボタンを何回押すか』で理解できます。

例 1：出荷時の状態
ボタンNo.→ 1 2 3 4
0000
※どのボタンを押さなくても解錠できます。

例 2：記憶番号 2003 の設定時
ボタンNo.→ 1 2 3 4
2003

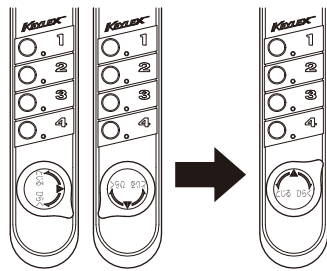
『とじる』に回しリセットする
【1 のボタン】を 2 回押す
【2 のボタン】は押さない
【3 のボタン】は押さない
【4 のボタン】を 3 回押す
『ひらく』に回し解錠する

・記憶番号は各ボタン 0 から 7 まで設定できます（最大各 7 回まで押せます)。
・室外本体に記憶番号の設定が可能です。

注：0000 の設定は空錠
　ボタン操作無しで解錠できます。
注：1 桁の設定は防犯上おやめください。
　2 桁以上の設定をおすすめします。
注：7777 この設定にはしないでください。

例：0001　0700　3000 NG
　　1001　0701　3100 OK

「安全装置機能」とは

ロックターンを強引（記憶番号操作をせず）に不正開錠をおこなうと、KL047 内部の『安全装置』が働き、ロックターンが空転します。
故障ではありません。
右図のように、傾いたり、横になった時は強い力で回転させ、正常な位置に戻してください。

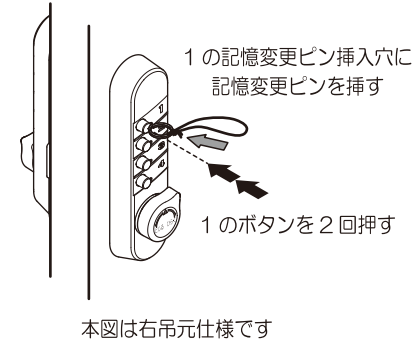
安全装置作動時　　正常な位置

記憶番号 新規設定： 必ず扉を開けた状態でおこないます

室内に 2003 を設定する例での説明です。
設定する記憶番号は、必ず裏面〈記憶番号の記録〉欄に記入してください。

1: 施錠･解錠の確認

工場出荷時、記憶番号は設定されていません。0000
【施錠確認】ロックターン（サムターン）を『とじる』に回し、デッドボルトが出ることを確認します。【解錠確認】『ひらく』へ回し、デッドボルトが収まることを確認します。

2: 記憶番号の設定［1 のボタン］

本図は右吊元仕様です

2－1：記憶変更ピンを使用します。
2003 の記憶番号を入力するために【1 のボタン】に 2 を入力します。
2－2：記憶変更ピンを 1 のボタンの隣の挿入穴に挿し、奥まで確実に挿し込みながら【1 のボタン】を２回押します。
（1 回ずつ確実に押してください）
2－3：ピンを抜く。【1 のボタン】に 2003 の 2 が入力されました。

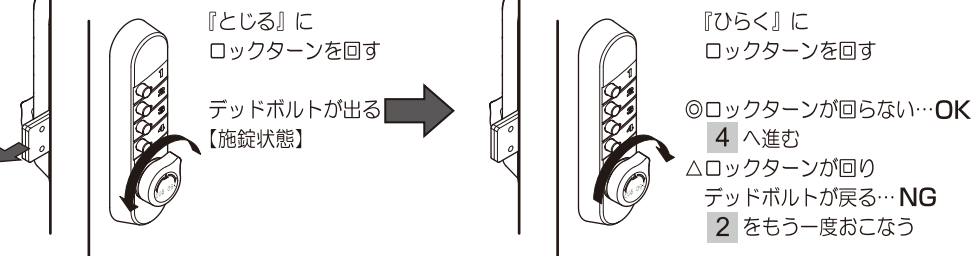
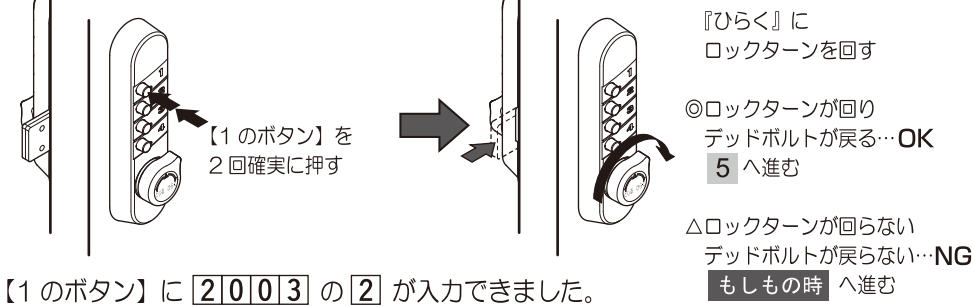
3: 施錠の確認

◎ロックターンが回らない…OK
4 へ進む
△ロックターンが回り
デッドボルトが戻る…NG
2 をもう一度おこなう

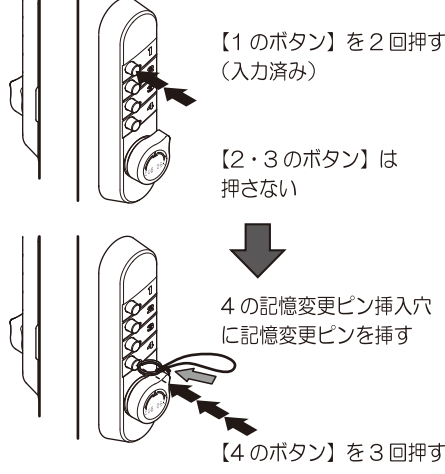
4: 解錠の確認

『ひらく』に
ロックターンを回す

◎ロックターンが回り
デッドボルトが戻る…OK
5 へ進む

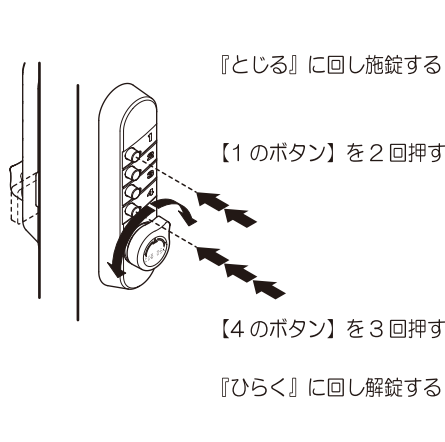
△ロックターンが回らない
デッドボルトが戻らない…NG
もしもの時 へ進む

【1 のボタン】に 2003 の 2 が入力できました。

次に進む前に
※記憶番号を入力しロックターン操作をしたときは、既に入力してある記憶番号のボタンを押してから、次の記憶番号の入力操作をおこないます。
※一度に［1 ～ 4 のボタン］を同時に入力する事もできます。

5: 記憶番号の設定［2 ～ 4 のボタン］

5－1：既に入力済みの【1 のボタン】を２回確実に押します。
5－2：【2・3 のボタン】は 0 設定のため押す必要はありません。
5－3：【4 のボタン】に 2003 の 3 を入力します。
5－4：2 と同様に記憶変更ピンを 4 のボタンの隣の挿入穴に挿し、奥まで挿し込みながら【4 のボタン】を３回押します。
※一回ずつ確実にボタンを押します。
5－5：ピンを抜く。【4 のボタン】に 2003 の 3 が入力できました。

6: 施錠・解錠の確認 （3，4 と同じ操作です）

現在、入力されている記憶番号は 2003 です。

『とじる』に回し施錠する
【1 のボタン】を２回押す
【4 のボタン】を３回押す
『ひらく』に回し解錠する

6－1：施錠の確認。
ロックターンを『とじる』に回しデッドボルトを出します。
6－2：ロックターンを『ひらく』に回し、回らないことを確認します。
6－3：解錠の確認。
【1 のボタン】を２回押す。
【2・3 のボタン】は押さない。
【4 のボタン】を３回押す。
6－4：ロックターンを『ひらく』に回しデッドボルトが戻ることを確認します。

7: これで 2003 の記憶番号が入力できました

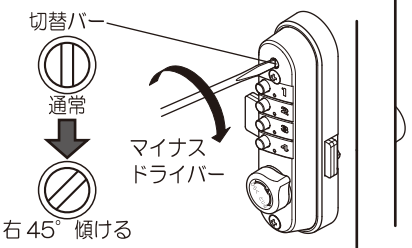
8: 室内側も同様の手順で、記憶番号を設定し入力します

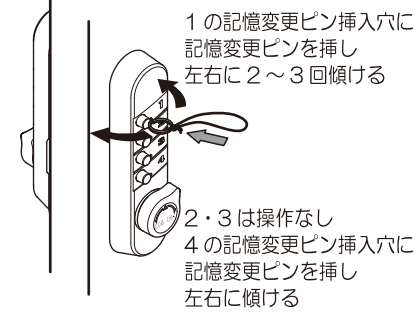
記憶番号 変更： 必ず扉を開けた状態でおこないます

記憶番号を変更するときは、現在入力されている番号を全て０に戻してから、新規に設定する記憶番号を入力します。
例：室内 2003 ➡ 0000 ➡ ????（新規番号）
注：室内側、室外側同じ操作ですが、別々に行なってください。

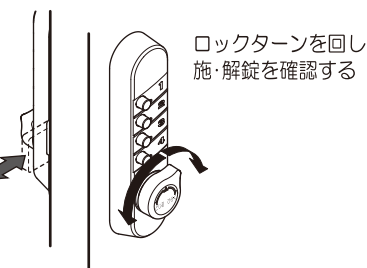
1: 現在入力されている記憶番号 2003 を入力する

記憶番号を入力しないと、番号変更はできません。

2: 切替バーを傾ける

2－1：ロックターン操作はしないでください。
2－2：マイナスドライバーで両面室内本体上部の切替バーの溝を右 45 度に傾けます。
2－3：切替バーは傾けたまま、ドライバーを抜き取ります。

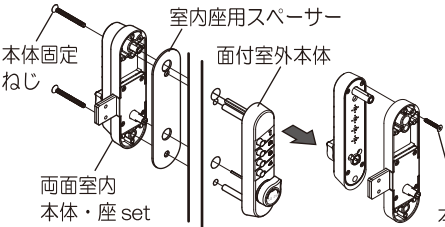
3: 0 の設定

3－1：1 のボタンの隣の挿入穴に記憶変更ピンを奥まで確実に挿し込みながら、左右に２～３回傾けます。入力が解除されます。
2→0
3－2：2・3 のボタンは 00 の為そのままです。
3－3：1 のボタンと同様に 4 のボタンの隣の挿入穴にピンを押し込み左右に傾けます。
3→0

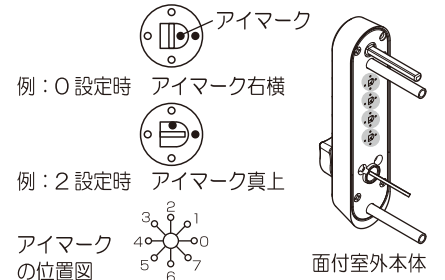
4: 切替バーを戻す

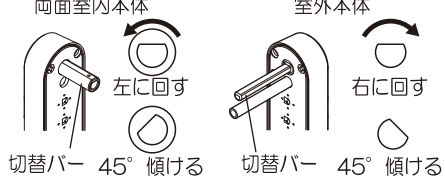
5: 0000 の確認 （施解錠フリー状態）

5－1：ロックターンを『とじる』に回しデッドボルトを出す。
5－2：ロックターンを『ひらく』に回す。
5－3：デッドボルトが戻れば OK です。
記憶番号 新規設定 へ進む。
デッドが戻らない、ロックターンが回らない場合は再度 1 からやり直す。それでも出来ない時は もしもの時 へ進む。

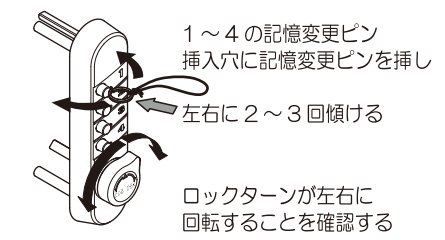
もしもの時

記憶番号を新規設定時や、変更時の設定間違い、またはもしも記憶番号を忘れてしまったときには次の手順で本体を取り外し、記憶番号の確認をしてください。

1: 本体の取り外し

1－1：室内側の固定ねじ２本をプラスドライバーで外し、扉から KL047 を外す。
注：本体の落下に注意してください。
1－2：本体・室内座固定ねじを外し、両面室内本体と座を分割してください。

2: 記憶番号の確認 （本体裏側で確認）

2－1：ロックターンを左右に回します。
2－2：ボタン裏にアイマークが見えます（左図)。アイマーク同士が合った所が 0 設定です。
2－3：ボタンを押します。1 回押すごとに 45 度ずつ右回転します。
2－4：確認後ロックターンを回します。アイマークが止まっている位置が今の記憶番号です（このままでも使用できます）。

3: 切替バーを傾ける

3－1：2 で確認できた記憶番号を押します。
全て 0 設定に揃えます。0000
3－2：切替バーを 45 度回し傾けます。
注：室外本体は右へ回します。
室内本体は左へ回します。

4: 0 の設定

4－1：本体を表側にし、全てのボタンの隣の挿入穴に記憶変更ピンを挿し込み、押し込みながら左右に傾け、ピンを抜きます。
4－2：本体を裏側にし、切替バーを戻します。
4－3：ロックターンが左右に回転することと本体裏面のアイマーク全てが 0 の位置になったことを確認します。0000

5: 本体の取付

面付室外本体、両面室内本体・座 set を本体固定ねじ（ϕ5×50）２本で取り付けます。
再度、 記憶番号 新規設定 へ進む。